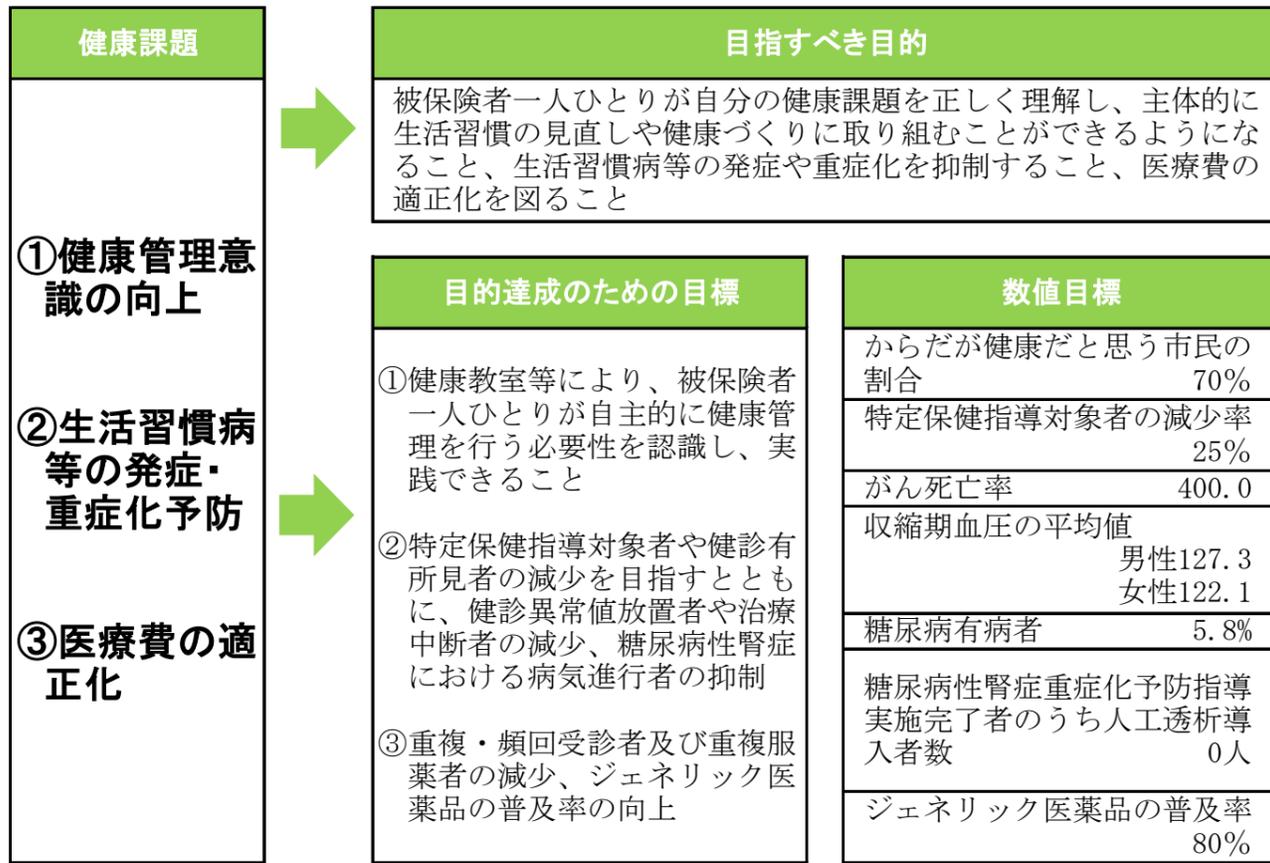


6 健康課題、目的、目標

前期計画の評価及び健康・医療情報等の分析により、健康課題が見えてきました。その課題に対し、目指すべき目的や数値目標を設定しました。



7 主な実施事業

- 健康相談…電話やイベント等で健康に関する相談を実施します。
- 健康教育…学校等で健康教育を実施します。各地区でウォーキング等運動学習を実施します。
- 特定健診対策事業…未受診の人へ訪問や電話等で受診勧奨します。事業主や個人からの健診結果や、医療機関で受けた診療検査結果を受領します。
- 健康診査助成事業…がん検診の個人負担分と39歳以下の一般検診の健診料を助成します。
- 健診異常値放置者受診勧奨事業…健診で異常値が出たのに病院受診がない人へ通知します。
- 栄養学習、減塩指導…イベント等で減塩みそ汁の試飲や塩分測定を行います。
- 糖尿病性腎症重症化予防事業…人工透析になりそうな人を健診結果、レセプト情報から選定し、面談、電話等による栄養、運動、服薬管理等6カ月の保健指導をします。
- 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業…生活習慣病の治療を中断している人に通知します。



■能代市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)全文は、こちらでご覧いただけます。
 ・能代市ホームページ (<http://www.city.noshiro.akita.jp/>)
 ・市役所新庁舎行政情報コーナー ・二ツ井町庁舎1階市民フロア ・各地域センター、富根出張所
 ■発行 市民福祉部市民保険課
 〒016-8501 能代市上町1-3 電話 0185-89-2166 F A X 0185-89-1773

第2期 能代市国民健康保険保健事業実施計画 (データヘルス計画) 概要版

平成30年
3月策定

1 計画策定の背景と位置付け

国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針が一部改正され、保険者は健康・医療情報を活用してPDC Aサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための実施計画を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うものとされました。

こうした背景により、平成29年3月に策定した能代市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)の実施状況を踏まえ、さらにこの取組みを推進するために第2期データヘルス計画を策定しました。

2 計画期間

平成30年度から平成35年度までとしています。

3 能代市の特性把握

●基本情報

年々人口は減っており、それに伴い国保被保険者数も減っています。

人口総数	高齢化率(65歳以上)	国保被保険者数	国保加入率	国保被保険者平均年齢
54,730人	37.9%	14,143人	25.8%	57.6歳
H27年国勢調査		H27年9月月報		平成27年10月1日現在の被保険者データ

●死因の状況 H26年度

生活習慣病に関係する疾患の主な死因です。2人のうち1人は悪性新生物(がん)で亡くなっています。

1位	悪性新生物(49.0%)	2位	心臓病(26.1%)	3位	脳疾患(16.9%)
----	--------------	----	------------	----	------------

●医療受診の状況 H28年度

健診を受けていない人は、健診を受けている人よりも一人あたりの医療費が高くなっています。

【一人当たり医療費】

健診受診者	18,330円
健診未受診者	148,010円

【生活習慣病対象者】

健診受診者	45,110円
健診未受診者	364,230円

高血圧症や糖尿病など生活習慣病で、健診を受けていない人は医療費が36万円でした。病気が重症化して医療費が高くなるのを防ぐためにも、年1回の健診は大切です。

はい。家族にも教えます!



4 医療・健康情報の分析結果

28年度のレセプトや健診情報を分析した結果です。

①疾病大分類別

- 循環器系の疾患が、患者数、医療費総計とも多くなっています。
- 新生物<腫瘍>が、医療費総計、一人当たり医療費とも前年度に引き続き、1位となっています。

患者数の多い疾病	H28年度(のべ人数)		H27年度(のべ人数)	
消化器系の疾患	1位	6,345人	2位	6,580人
内分泌、栄養及び代謝疾患	2位	6,263人	3位	6,346人
循環器系の疾患	3位	6,198人	1位	6,600人

医療費総計の高い疾病	H28年度		H27年度	
新生物<腫瘍>	1位	886,956,562円	1位	796,460,007円
循環器系の疾患	2位	777,350,005円	2位	739,369,878円
筋骨格系及び結合組織の疾患	3位	455,581,785円	4位	458,300,345円

患者一人当たりの医療費が高額な疾病	H28年度		H27年度	
新生物<腫瘍>	1位	245,016円	1位	211,319円
妊娠、分娩及び産じょく	2位	185,546円	5位	106,174円
精神及び行動の障害	3位	174,836円	2位	178,629円

【行政区別】医療費総計	行政区名	
1位	新生物<腫瘍>	本庁、向能代、二ツ井
	循環器系の疾患	榊、扇淵、檜山、鶴形、浅内、常盤、富根

大分類：中分類

- 消化器系の疾患：胃潰瘍、アルコール性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、脂肪肝等
- 内分泌、栄養及び代謝疾患：糖尿病、高脂血症、脂質異常症等
- 循環器系の疾患：高血圧、狭心症、脳内出血、脳梗塞、動脈硬化等
- 新生物<腫瘍>：悪性新生物(胃がん、大腸がん等)、白血病、良性新生物(子宮筋腫等)等
- 筋骨格系及び結合組織の疾患：腰痛症、関節症等

②疾病中分類別

- 生活習慣病である高血圧疾患が上位です。

患者数の高い疾病	
1位	高血圧性疾患
2位	その他の消化器系の疾患
3位	脂質異常症

医療費総計の高い疾病	
1位	その他の悪性新生物<腫瘍>
2位	高血圧性疾患
3位	糖尿病

患者一人当たりの医療費が高額な疾病	
1位	白血病
2位	腎不全
3位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>

高血圧をほったらかしたままにしておくと、重症化につながります。医療機関で適正な診療を受けましょう。



③医療機関受診状況

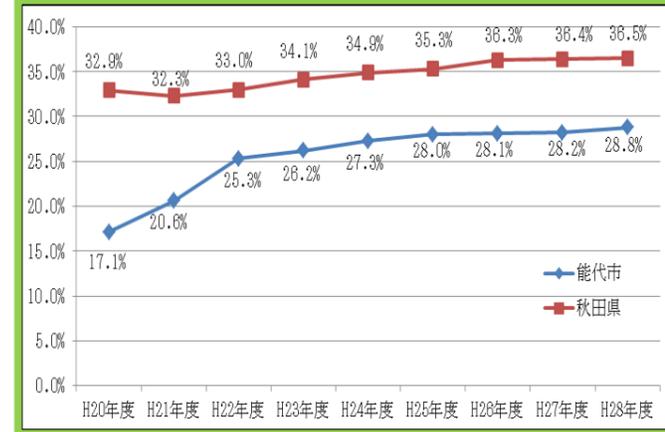
項目	定義	人数
重複受診者	1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人	61人
頻回受診者	1カ月間に12回以上受診している人	107人
重複服薬者	1カ月間に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える人	230人
薬剤併用禁忌対象者	1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人	310人

④特定健診

メタボリックシンドロームの発症リスクが高い対象者を早期に発見し、生活習慣の改善により発症と重症化の抑止を図り、医療費の適正化に結びつけるために、40歳から74歳までの被保険者を対象に能代市保健センターや委託実施機関等で実施しています。

平成28年度の受診率は28.8%でした。年々微増はしていますが、目標の60%には大きな開きがあります。

【特定健診受診率】

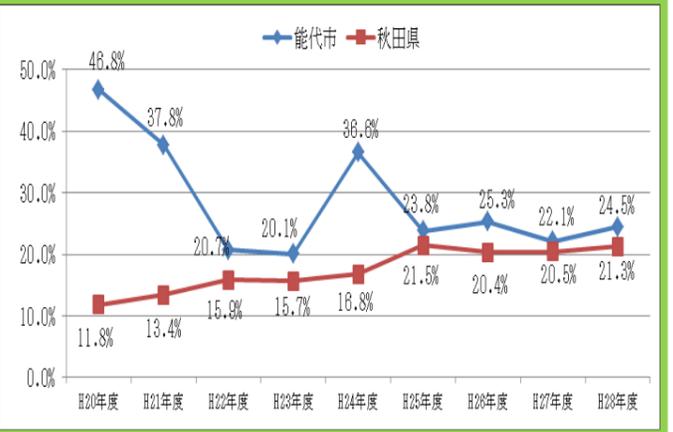


⑤特定保健指導

生活習慣病のリスクが高い対象者が、生活習慣を改善し、生活習慣病の予防を図ることを目的として、特定健診の結果より「動機付け支援」と「積極的支援」に分けて実施しています。

平成28年度の終了者の割合は24.5%でした。平成25年度以降横ばいです。

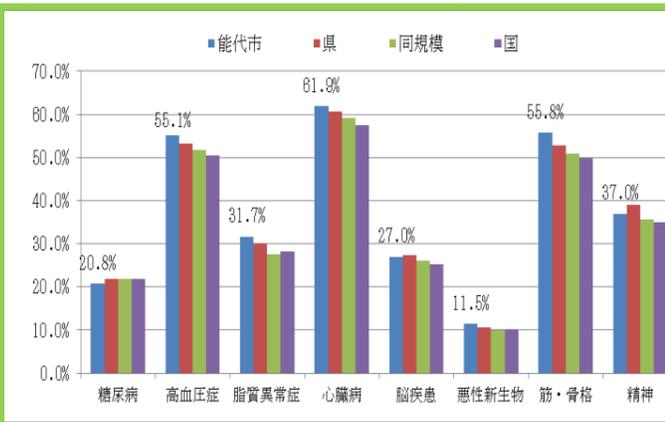
【特定保健指導終了者の割合】



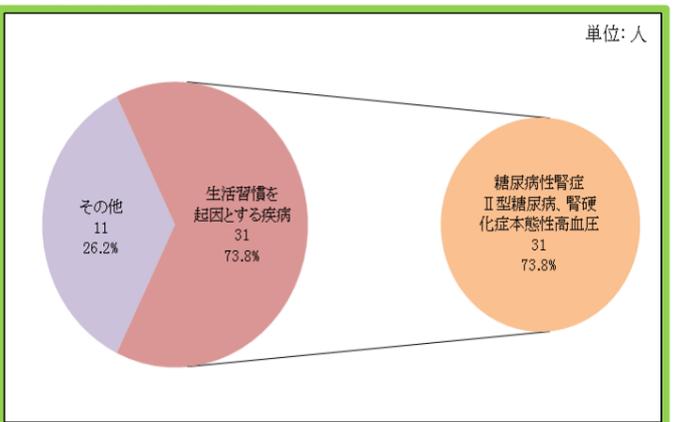
⑥介護保険の状況

要介護認定者の多くが生活習慣病を有しています。特に心臓病を有している要介護認定者は60%を越えています。高血圧症・脂質異常症・心臓病・悪性新生物・筋・骨格は、県・同規模自治体・国と比較し、数値が高いです。

【要介護認定者の疾病別有病状況】



【透析患者の起因】



⑧その他

- 平成28年4月から29年3月診療分のジェネリック医薬品普及率は、数量ベースで58.5%です。
- 健診異常値放置者や生活習慣病の治療中断者も一定数存在しています。
- 特定健診結果の有所見率では、空腹時血糖、収縮期血圧、拡張期血圧が、県等より高くなっています。非肥満高血糖の割合も高いです。

